

飯舘村の現状（2011/03/23 19:30）

災害対策本部長（飯舘村長） 菅野典雄

（1）土壌から放射性物質が検出された件

- ・文科省の土壌検査結果が発表され、セシウム、ヨウ素の値が高いというニュースがWEBで流れた。
- ・調査を実施していたことは把握している。
- ・事前に国、県からの検査結果の報告がないままにニュースが流れたため、マスコミや住民からの連絡対応に問題が生じている。

（2）放射性物質の状況

①大気

- ・役場周辺のモニタリングポストの数値：13.0 μ Sv（19:00 現在）

②水道水

- ・厚労省が調査している「滝下浄水場」の3回目測定値は344Bq／リットルと漸減中。

※浄水場は村内4箇所あり。



③村民へのスクリーニング調査

- ・希望者に対してスクリーニングを2日間にわたって実施。
- ・22日に765人、23日に565人の計1,330人が検査を受けた。
- ・全員、基準値をクリアした。

(3) 村の生活

①飲料水

- ・飲料水の初回配付については一段落した。
- ・3/22に簡易水道の飲用規制対策として、国から160tの水（ペットボトル）を調達し、全戸配付を終えた。
- ・既に水の残りは30tとなっており、追加で100t程度の水補給を要望している。

②ガソリン

- ・昨日、全戸に対して世帯1台限定、1台あたり13リッター（2千円分相当）の給油を行うための給油カードを交付した。
- ・ガソリンの残留量が予想を下回ったため、700人に対して給油ができずに混乱が生じた。
- ・但し、ガソリンが確保でき、明日中に700人への給油ができる見込み。
- ・村に戻ってきている世帯に対しても供給できる見込み。

③食料

- ・25日に実施する講演会（福島原発事故による放射線健康リスクについて）において、支援物資の食料を村民に配付する予定。

④インフラについて

- ・村内道路61箇所に破損発生。国に改修の要望を上げるべく、情報精査中。
- ・原町の屎尿処理場が水没し、半年は再生できない見込み。川俣に処理を依頼することで調整中。

④帰村者

- ・村に戻ってきている人が増えており、この確認作業を進めている
- ・水の配給時に、区長から報告して貰うようにしている。

⑤特養老人ホーム

- ・不足していた経管栄養食の一部（OS1）が補給された。

(4) その他

- ・24日、10時から議会「東日本大震災並びに福島第一原発の災害対策特別委員会（全員協議会）」を開催予定。
- ・鹿沼市の避難所の交代職員が今日現地に向かい、明日引き継ぎをする。